

令和 7 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 実 習 理 論

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …



(濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …



- 5 各問に対し、2 つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の曲の伴奏で主要三和音の構成音を使った場合、A～Dにあてはまるものとして、適切な組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ア	イ	エ	ア
2	イ	ア	エ	ウ
3	ウ	ア	エ	エ
4	ウ	ウ	エ	イ
5	エ	ア	ウ	エ

問2 次のA～Dの音楽用語の意味を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A arpeggio
- B staccato
- C legato
- D tenuto

【語群】

- ア その音を急速に反復して奏する。
- イ その音の長さを十分に保って奏する。
- ウ だんだん遅く奏する。
- エ 音と音の間を切らずになめらかに奏する。
- オ その音を短く切って奏する。
- カ 分散和音のように奏する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | エ | オ |
| 2 | ア | オ | カ | イ |
| 3 | イ | カ | エ | オ |
| 4 | カ | ア | ウ | エ |
| 5 | カ | オ | エ | イ |

問3 次の楽譜は3つの音で構成される和音である。その中から長三和音（メジャーコード）を抽出した正しい組み合わせを一つ選びなさい。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

The musical notation shows six chords in bass clef. Chord 1 consists of F#2, C#3, and F#4. Chord 2 consists of F#2, G#3, and A#4. Chord 3 consists of F#2, G#3, and Bb4. Chord 4 consists of F#2, G#3, and A#4. Chord 5 consists of F#2, G#3, and A#4. Chord 6 consists of F#2, G#3, and A#4.

（組み合わせ）

- 1 ① ② ⑤
- 2 ① ④ ⑥
- 3 ② ③ ④
- 4 ② ⑤ ⑥
- 5 ③ ④ ⑤

問4 次の曲をクラスで歌ってみたところ、高い音が歌いにくそうであった。そこで長2度下の調に移調することにした。その場合、A、B、Cの音は鍵盤の①から⑳のどれを弾くか、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	⑭	⑬	⑩
2	⑰	⑪	④
3	⑰	⑬	⑧
4	⑱	⑪	⑧
5	⑱	⑫	⑦

問5 次の楽譜は、ある曲の歌いはじめの部分のリズムを表している。その曲は次のうちどれか、一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 「雪」(文部省唱歌)
- 2 「あめふりくまのこ」(作詞：鶴見正夫 作曲：湯山昭)
- 3 「思い出のアルバム」(作詞：増子とし 作曲：本多鉄磨)
- 4 「おべんとう」(作詞：天野蝶 作曲：一宮道子)
- 5 「ドレミの歌」(日本語詞：ペギー葉山 作曲：リチャード・ロジャーズ (Richard Rodgers))

問6 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A シロフォン (xylophone) の音板は金属製である。
- B オクターヴ (octave) は、2 音間に完全8度の隔たりがある音程である。
- C 「かわいいかくれんぼ」(作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直) の歌詞には、リスが出てくる。
- D 変ロ長調の平行調はト短調である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問7 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」4「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」(2)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一部である。(A) ～ (E) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

コ 豊かな感性と表現

心を動かす(A)などに触れ(B)を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、(C)同士で表現する(D)を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、(E)をもつようになる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	出来事	感性	友達	発表会	熱意
2	出来事	感性	友達	過程	意欲
3	事象	心	友達	過程	希望
4	事象	心	仲間	生活	希望
5	事象	頭	仲間	生活	願望

問8 4歳児クラスでは伝承遊びを楽しむために、ブンブンごま（びゅんびゅんごま）を作って遊ぶことにしました。

【設問】

ブンブンごま（びゅんびゅんごま）をつくるために必要なものとして、最も適切な組み合わせを1つ選びなさい。

【語群】

ア 工作用紙	イ 障子紙（和紙）	ウ 新聞紙	エ 紙コップ
オ ビー玉	カ はさみ	キ ペットボトル	ク キリ（千枚通し）
ケ ペンチ	コ 輪ゴム	サ 糊	シ 穴あけパンチ
ス 巻き尺	セ たこ糸	ソ ストロー	

（組み合わせ）

- 1 ア イ エ キ ケ
- 2 ア イ オ コ ソ
- 3 ア カ ク サ セ
- 4 イ ウ シ セ ソ
- 5 イ カ ク シ ス

問9 次の文は、子どもの描画発達に関する記述である。【Ⅰ群】の描画の発達段階の名称と【Ⅱ群】の描画の発達段階の特徴の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 象徴期（命名期）
- B 錯画期（なぐりがき期、スクリブル期）
- C 図式期
- D 前図式期
- E 後図式期

【Ⅱ群】

- ア 形を羅列して描くため、画面に統一性がない。後半には「頭足人」と呼ばれる表現がみられるようになる。
- イ 画面の空間設定が始まり、画用紙の下方に「基底線」といわれる線が現れるようになる。
- ウ 目前にないものを心の中に思い浮かべることができるようになる。手と目の協応により、思うような線が描けるようになる。
- エ 手首や肘を使うことにより大きな螺旋である円をいくつも重ねて描く。
- オ 上手に描きたいという気持ちが高まるようになる。

（組み合わせ）

	【Ⅰ群】	【Ⅱ群】
1	A	ア
2	B	ウ
3	C	イ
4	D	エ
5	E	オ

問10 次のA～Dのクレヨン・パスに関する記述のうち、適切な記述を○、不適切なものを×とした場合、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A クレヨンの起源はローマ時代に遡るが、現在の形のクレヨンは、19世紀にオランダで発明された。
- B クレヨンは、日本では、大正期の自由画教育運動の広がりの中で普及するようになった。
- C クレヨンとパスの硬さを比較すると、クレヨンの方がかためで、パスの方が柔らかめに作られている。
- D 明るい色のクレヨン・パスを画用紙に下塗りした上から、黒などの暗い色のクレヨン・パスで塗りつぶし、尖ったものでひっかいて描く技法をバチックという。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問11 次の文のうち、「色の機能」の説明として、(a) ～ (d) の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

色によっては、同じ距離から見ているのに近くに飛び出してくるように感じる色と、遠くに引き込んでいるように感じる色とがある。近くに飛びだして感じられるような色を進出色といい、色相では(a) 寒色系で、明度では(b) 明るい色が当てはまる。遠くに引き込んで感じられる色は後退色といい、色相では(c) 暖色系で、明度では(d) 暗い色が当てはまる。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問12 次の【Ⅰ群】の子どもの描画の技法名と【Ⅱ群】の方法と【Ⅲ群】の図を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

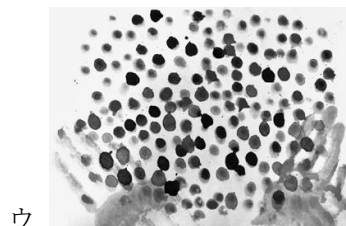
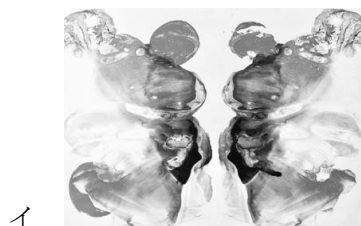
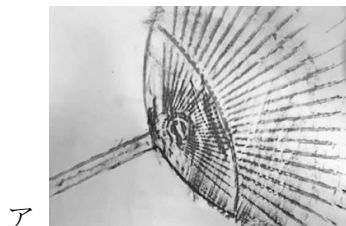
【Ⅰ群】

- ア フロッタージュ
- イ フィンガーペインティング
- ウ コラージュ
- エ デカルコマニー

【Ⅱ群】

- ア 手で直接絵の具を紙に塗る技法
- イ 凹凸のある物に紙を当てて、鉛筆やクレヨンなどで擦ると形が浮かび上がる技法
- ウ 「貼り絵」の意味で、折り紙や色画用紙などを貼り合わせて作る技法
- エ 紙に絵の具を置いて二つ折りにして広げ、模様が左右対称になる技法

【Ⅲ群】



(組み合わせ)

	Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群
1	ア	ア	イ
2	イ	ウ	ウ
3	ウ	エ	エ
4	エ	イ	ア
5	エ	エ	イ

問13 次の【Ⅰ群】の児童文学作家名と【Ⅱ群】の児童文学作品のタイトルを結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 小川未明
- B ハンス・クリスチャン・アンデルセン (Hans Christian Andersen)
- C サン・テグジュペリ (Antoine de Saint-Exupéry)
- D 浜田廣介
- E ルース・スタイルス・ガネット (Ruth Stiles Gannett)

【Ⅱ群】

- ア 『赤い蝋燭と人魚』
- イ 『雪の女王』
- ウ 『泣いた赤おに』
- エ 『エルマーのぼうけん』
- オ 『星の王子さま』

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | ウ | エ |
| 2 | ア | オ | エ | イ | ウ |
| 3 | イ | ア | ウ | オ | エ |
| 4 | ウ | ア | エ | イ | オ |
| 5 | ウ | イ | オ | エ | ア |

問14 次の【Ⅰ群】の「保育所保育指針」第2章「保育の内容」エ「言葉」の一部と【Ⅱ群】の年齢区分を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。
- B 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。
- C 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
- D 人の言葉や話等を聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。
- E 人の言葉や話等をよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
- F 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語等に親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。

【Ⅱ群】

- ア 1歳以上3歳未満児
- イ 3歳以上児

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E	F
1	ア	ア	ア	イ	イ	イ
2	ア	ア	イ	ア	イ	イ
3	ア	イ	ア	イ	ア	イ
4	イ	ア	イ	ア	イ	ア
5	イ	イ	イ	ア	ア	ア

問15 次の文のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」4「保育の実施に関して留意すべき事項」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの入所時の保育に当たっては、慣れない場所で生活することになる子どもの不安な思いを理解して、特定の保育士等が関わり、その気持ちや欲求に応えるよう努めることが大切である。
- B 既に入所している子どもにとって、新しく入所した子どもとの出会いは期待に満ちたものであり、自分と保育士等と新しく入所した子どもとの関係はすぐに安定するため、既に入所している子どもよりも新しく入所した子どもを優先して関わると良い。
- C 外国籍の保護者に自国の文化に関する話をしてもらったり、遊びや料理を紹介してもらったりするなど、保育において子どもや保護者が異なる文化に触れる機会をつくるといったことが考えられる。
- D 乳幼児期の子どもの発達には心身共に個人差が大きいため、同じ月齢や年齢の子どもの平均的、標準的な姿に合わせた保育を展開する必要がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	○	×	×	○
5	×	×	○	○

問16 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

実習生のYさんは、保育所の3歳児クラスで実習を行っています。ある一日の指導計画を作成し、クラス皆で集まる際に子どもたちの前で手遊びを行ったところ、多くの子どもたちが一緒に手遊びを楽しんでいたようでした。

【設問】

Yさんの保育の計画及び評価として、「保育所保育指針」第1章「総則」3「保育の計画及び評価」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 多くの子どもたちが楽しんでいたようなので、手遊びを行った時間については、記録を通して実践を振り返る必要はない。
- B 子どもたちがどのような様子であっても、作成した指導計画の通りに手遊びを行う必要があったため、計画通り実行した。
- C 一日の指導計画を作成するにあたっては、全体的な計画を考慮する必要はない。
- D 一人一人の子どもの主体性が重視されてこそ集団の育ちがあることを認識し、指導計画を作成することが重要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問17 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

実習生のMさんは、R保育所の5歳児クラスで実習を行っています。5歳児クラスのT君とS君は昆虫が好きで、よく一緒に図鑑を見たり、園庭で虫探しをしたりする姿がありました。その日も図鑑を見た後、二人で園庭に虫探しに出かけて行き、カマキリを一匹捕まえました。S君が、「ほら、カマキリだよ。かっこいいよ」とMさんのところに来て嬉しそうに見せてくれました。するとT君が急いでやってきて、「僕が最初に見つけたんだよ。カマキリがいる場所を見つけてS君に教えたのは僕だから、僕のカマキリだよ」と言って、S君の手からカマキリを奪い取ろうとしました。S君は「やめてよ。捕まえたのは僕だから、僕のカマキリだよ」とカマキリを手から渡しません。T君、S君はお互いに譲らず、今にもカマキリの胴体が引き裂かれそうです。

【設問】

実習生Mさんの対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A カマキリの胴体が引き裂かれそうだったので、「カマキリが死んじゃうよ」と、カマキリの「生命」が大事だということを伝える。
- B 「S君がカマキリを先に捕まえたんだったら、捕まえた人が持ち主だよ」と実習生が判断する。
- C T君とS君は、捕まえたカマキリをどうしたいのか、それぞれの話を聞く。
- D 「小さい子どもたちも見ているから、5歳児クラスなのに、けんかをするのはおかしいよ。けんかは恥ずかしいことだよ」と二人に伝える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問18 次の文は、「全国保育士会倫理綱領」に示された「チームワークと自己評価」の一部である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

私たちは、（ A ）におけるチームワークや、関係する他の（ B ）との連携を大切にします。また、自らの行う保育について、常に（ C ）の視点に立って自己評価を行い、保育の（ D ）を図ります。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	保育所	専門機関	保護者	量の拡充
2	職場	福祉施設	子ども	量の拡充
3	保育所	専門機関	親子	質の向上
4	職場	専門機関	子ども	質の向上
5	保育所	福祉施設	親子	質の向上

問19 次の文は、障害児入所施設で実習をしているSさんが、こどもと信頼関係を築くコミュニケーションについて、実習指導者から受けた説明である。適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A こどもの状態や年齢に関わらずスキンシップは控える。
- B こどもと目線を合わせて、表情を読み取りながらコミュニケーションをとる。
- C 何気ない会話や、眼差し等の非言語コミュニケーションを通して「あなたは大切な存在である」というメッセージを伝えるように関わる。
- D 実現することが難しい欲求、思いや願いは、わがままであることを伝える。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

実習生Gさんは、母子生活支援施設で実習を行っている。実習開始から10日経ったある日、DV（ドメスティック・バイオレンス）被害を理由に入所しているHさん（母親）から、「これから先、自立して生活していける自信が無い。一緒に入所している我が子の将来を考えると、いろいろ考えてしまう」と打ち明けられた。

【設問】

次のうち、Hさんに対する支援の考え方として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A Hさんは母子生活支援施設に入所し、安全な環境下にあるため、自分はダメなのだという自己否定の感情をもつことは不自然と考える。
- B 子どもの将来を考えているということは、母親として望ましいことであるため、ストレス視点で肯定的に評価する。
- C 母親として主体的に子育てや生活ができるよう、Hさんの様々な力をエンパワーメントする。
- D Hさんへの支援に際し、変化や支援の主体は母親で、支援者はそれを支えるスーパーバイザーであるという意識をもつ。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○